

道標ない旅

自分も人も大切に
～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～

回覧



令和4年度 地域版第3号
2022.5.24発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 久々の晴天の中、4月25日(月)クラブ活動が開始しました。 ◆◆

以下の12のクラブ活動を今年度は設定しています。楽しく活動出来ればいいなと願います。

パソコン	図工・イラスト	卓球	ボードゲーム
家庭科	バドミントン	ドッジボール	サッカー
理科	バスケット	陸上	ダンス



ドッジボール



卓球



陸上



バスケットボール



バドミントン



パソコン



理科



ボードゲーム



ダンス



図工・イラスト



家庭科



サッカー

今年こそ十分に活動できることを期待しています。充実したものになりますように！

◆◆ 引き渡し訓練を実施いたしました。 ◆◆

5月16日(月)は、3年ぶりに引き渡し訓練を実施しました。晴れていれば、密を避けるために校庭での引き渡し予定でしたが、雨天でしたので、引き渡し場所は各教室となりました。

引き渡しの場面を実際に想定すると、葉山町自体が「震度5弱」以上の地震に襲われたときが考えられます。「震度5弱」以上は、本来臨時休校の目安です。在校時に罹災した場合は、町内の安全確認も必要なので、児童をむやみに下校させるわけにはいきません。必ず「引き渡し」になると考えてください。震度5弱程度なら町や長柄地区の被害も少なく、自宅が安全と考え、引き渡した後ご自宅に戻るご家庭が多いと推測されます。このケースの訓練(練習)と捉えていただくのが良いかと思ひます。おそらく、メール配信も可能な状態で、引き渡しの実施を伝えることになると思ひます。(もし、メールがなくても「引き渡し」と想定してください！)

葉山町が震度6以上を経験した場合は、引き渡し場所は体育館、引き渡しが終わったご家族がそのまま長柄小での避難生活に入っていくケースもあると予想されます。この場合は、避難所運営委員会が組織され、避難されてきた方が協力し・助け合って、避難所生活を支え合っていくことが期待されます。

大雨による災害が予想されるケースでは、まず児童をそんな状態で学校が抱えないで済むよう、管理職としてしっかり判断していきたいと思ひます。大雨状況では長柄小学校の立地は土砂災害を含め大変危険な状況を迎えかねないと考えています。引き渡しが容易に行える立地ではないのです。引き取りに来た大人が災害に巻き込まれかねない大雨に対しての脆弱性を常に念頭に置いて判断したいと考えています。



◆◆ 南郷中・長柄小合同運営協議会(コミュニティ・スクール)の開催準備を進めています。 ◆◆

(1) 運営協議会委員を紹介します。

	氏名	参 考
1		国立教育政策研究所総括研究員・R3長柄小・南郷中学校学校評議員
2		長柄町内会会長・R3長柄小・南郷中学校学校評議員
3		地域学校協働活動推進員・R2葉山町PTA連絡協議会役員
4		元長柄小学校長・元教育委員会指導主事 他
5		株式会社グライダー代表・慶応義塾大学環境情報学部特任教授
6		IT関連会社代表取締役（有限会社プランネル）
7		地域学校協働活動推進員・R3葉山町青少年指導員会長
8		南郷中学校PTA代表
9		長柄小学校PTA会長
10	森岡 孝	南郷中学校 校長
11	益田 孝彦	長柄小学校 校長
12	吉崎 緑	南郷中学校 教頭
13	長谷川 泰子	長柄小学校 教頭

運営協議会は、町の承認を受け、4月より正式に発足しました。

第1回目の南郷中・長柄小合同運営協議会は、5月27日（水）に南郷中学校で開催されます。

- (2) 現在、月2回は、上記委員で、「地域学校共同活動推進員」の任に当たる、委員・委員の2名が南郷中学校に設けられたコミュニティルームにて諸準備活動しています。

その日には、私(益田)も南郷中学校に出向き、コミュニティ・スクールの推進準備作業に当たっています。

森岡校長、委員、委員との準備作業で進められている内容をこの紙面を借りて紹介します。

- ①運営協議会やその準備打合せで話し合われた内容は、皆さんに分かりやすく伝えていく。
- ②地域が応援団となるコミュニティ・スクールの仕組みや、長柄小・南郷中の9年間の学び「小中一貫教育」を軸に、個に応じた児童生徒の資質能力を高め、公立小・中学校のレベルを越えた、優れた人材を長柄地区から沢山輩出していきたい（両校長の思い）。
- ③地域にある優れた教育力を今まで以上に活用したい。
南郷中学校が積み重ねてきたFGC (Find Good life of Comunity:葉山・長柄の良い暮らしを見つける)活動や、SDGs等での諸活動を行う指導者・指導団体で、長柄小児童や南郷中生徒に対し、実践活動を通してご支援を頂ける地域の指導者・指導団体を、改めて地域に求めていきたい。
葉山町町作り協会に所属する団体には、町づくり協会さんのお力添えを頂き、支援団体を探す。所属していない団体でも、今回の指導者募集に興味を抱かれ、支援の意思を示して下さる団体には、地域学校共同活動推進員さんが、直接交渉しその可能性を探っていく。
- ④手始めとして、南郷中学校の伝統的行事であるレシテーション(英語暗唱)大会の取り組みを、長柄小学校高学年(5・6年)においても出来ないか検討していく。取り組みを始めることで、南郷中学校でのゴール(最終到達目標)のレベルを、より高く引き上げ、小中一貫教育の礎を築いていく。
- ⑤昨年度両校の教職員が一堂に会し、教育相談(児童・生徒指導)を学ぶ合同研修を実施することが出来た。本年度は合同研修を3回に拡充して、小中連携を促進していく。

◆◆ 5年生の「田起こし」が実施されました。 ◆◆

雲の合間から陽の光が差し込み、蒸し暑さを感じる中、5年生児童がスコップと、体重を十分活かしての「田起こし」に挑戦しました。今日の土は水分をしっかりと含みかなりの重量感であったと思いますが、私が見学した2組の児童は、「とっても楽しかった」「もっとやりたい、全部やりたい」と、なかなか元気者でした。



指導して下さった さんのお話では、5月8日に種をまいたので、田植えの頃にはしっかり苗として育っているだろうとのこと。通学で脇を通る人はその変化を楽しんでくださいと伝えていただきました。10月上旬には稲刈りを迎えることとなります。

◆◆ マスクの着用について（地域の方々も何卒ご理解ください。） ◆◆

長柄小学校では、文部科学省並びに神奈川県教育委員会、葉山町教育委員会のガイドラインに則り、登下校を含めた学校生活において、マスク着用を通し、「感染させない」「感染しない」よう指導しております。方針を切り替えるときは必ずお伝えいたしますので、引き続きご協力をお願いいたします。

一方、これからの季節は気温が上がり、**熱中症対策の方がコロナ対策より上位の対策として扱われます。**息苦しさを感じたときや、坂道を含む登下校全般や、体育の実施時、マスクを使わなくて良いことを伝えていきます。**児童にも集会を通して、息苦しい時、マスクを外して体調管理に努めるよう積極的に指導いたします。**

また、体調以外にも、個々人の様々な理由で、不必要なおしゃべりはしない等のルールを守った上で、マスクを外して生活している児童もおります。集会では、児童に対し、「**何らかの理由でマスクを外して生活している児童がいる**」ことを説明し、**マスクをしていないことを責めたり、誹謗中傷したりする、いじめにつながるように話をしていきます。**この点についても、皆さんのご理解を頂きご協力を何卒お願い申し上げます。